　　　　　　　　　　　　令和７年度 第３７回 栃木県高等学校ワープロ競技大会

　　　　　　　　　　　　兼第７２回全国高等学校ワープロ競技大会栃木県予選会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　実　施　要　項

１　目　　　　的　商業教育の振興を図る事業の一環として実施する。

２　日　　　　時　令和７年６月２１日（土）

３　会　　　　場　栃木県立高根沢高等学校

　　　　　　　　　〒329-1204　栃木県塩谷郡高根沢町大字文挾32-2

　　　　　　　　　TEL 028-676-0531　FAX 028-676-0820

４　日　　　　程　　　　８：００　　　　　　　開場・機器搬入設置

　　　　　　　　　　　　８：３０～　９：００　受付

　　　　　　　　　　　　９：１５～　　　　　　委員打合せ

　　　　　　　　　　　　９：３０～　９：４５　開会式

　　　　　　　　　　　１０：００～１３：００　競技

　　　　　　　　　　　１３：００～１４：００　昼食・休憩

　　　　　　　　　　　１４：００～１４：４０　閉会式

５　参加資格　全国商業高等学校長協会の会員校在籍生徒であること。ただし、ワープロに関する業務

　　　　　　　　　に６か月以上従事の経験がある者の参加を認めない。

６　チームの編成　１）団体競技は、１校２チーム（３名以上４名以内の選手）で編成し、上位３名の合計を

　　　　　　　　　　　チームの成績とする。

　　　　　　　　　２）個人競技は、２名以内の選手とする。

　　　　　　　　　３）団体競技と個人競技は、同時に実施する。

　　　　　　　　　４）競技順の変更は、登録者の範囲内で大会当日受付に申し出る。前日に変更の受付は

　　　　　　　　　　　しない。また、選手の変更は認めない。

７　申込先　栃木県立高根沢高等学校　栃木県高等学校ワープロ競技大会係

　　　　　　　　　〒329-1204　栃木県塩谷郡高根沢町大字文挾32-2

　　　　　　　　　　TEL 028-676-0531　FAX 028-676-0820

８　競技種目　１）団体競技　上位３名の合計点を得点とする。

　　　　　　　　　２）個人競技

９　機械システム　１）機械システムの形態、パソコンの機種は問わないが、文字の入力はキーボードに限る

　　　　　　　　　　（その他の操作でマウスを使うことはできる）。ワープロ専用機や親指シフト・新ＪＩＳ

　　　　　　　　　　　キーボードは使用できない。

　　　　　　　　　２）キーボードの配列の方式は、ＪＩＳ配列のものに限る。なお、キーキャップをはずす

　　　　　　　　　　　などの改造・改変は認めない。また、キー配列を変更するソフトの使用は禁止とする。

　　　　　　　　　３）会場内に搬入するシステムは、本体・プリンタ（レーザープリンタは使用禁止）とも

　　　　　　　　　　　１校につき、団体競技用１チームにつき１台、個人競技用１台、予備１台（任意）、原

　　　　　　　　　　　稿台、延長コード（５ｍ程度）とする。ただし、キーボードは人数分まで持ち込んで

　　　　　　　　　　　よい。なお、キーボードがはずせない一体型の機械の場合は、人数分まで持ち込んでも

　　　　　　　　　　　よいが、机上に置けるのは１台のみとする。また、控室にキーボードを持ち込んでも

　　　　　　　　　　　よい。

　　　　　　　　　４）機械システムの輸送、搬入搬出および据付けは、すべて出場校の責任において行う。

　　　　　　　　　５）当日の搬入は、午前９時１５分までに完了すること。なお、搬入開始時刻は別途指示

　　　　　　　　　　　する（開場午前８時）。

　　　　　　　　　６）団体・個人とも団体４回目の競技終了後速やかに搬出する。

　　　　　　　　　７）文字列の先頭の数文字を入力すると自動的に、以前の変換候補を表示できる機能（注）

　　　　　　　　　　　を持つ日本語入力システムを使用する場合は、その機能をオフにして競技すること。

10　競技方法　１）団体・個人とも速度競技で制限時間は一人１０分とする。

　　　　　　　　　２）入力の際に使用できる日本語入力ソフトウェアは、MicrosoftＩＭＥもしくはＡＴＯＫ

　　　　　　　　　　　に限る。バージョンは問わない。

　　　　　　　　　３）ストレートコピー方式とする。

　　　　　　　　　４）原稿は明朝体フォントを用いる。

　　　　　　　　　５）ヘッダーに「学校名」「競技順」「選手氏名」を左寄せで入力する。

　　　　　　　　　６）フッターは、中央にページ番号を出力できるようにする。

11　問題答案　１）問題用紙のサイズはＡ４版とし、全商協会主催ビジネス実務検定試験出題基準に準じて

　　　　　　　　　　　作成する。なお、問題は１種類とする。

　　　　　　　　　２）答案用紙のサイズはＡ４版（上質紙）の規格のものを一人につき４枚配布し、うち１枚

　　　　　　　　　　　は練習問題印刷用とする。

12　競技進行手順　別紙「競技会進行手順」参照

13　失格規定　１）総エラー数が３０以上の場合は失格（純字数０）とする。

　　　　　　　　　２）競技の円滑な進行を妨げると判断されるトラブルが発生した場合は失格とする。

　　　　　　　　　　　①　明らかに本人のエラーにより印刷できない場合

　　　　　　　　　　　②　競技中に機械が故障した場合

　　　　　　　　　　　③　その他、競技委員が競技の円滑な進行が妨げられると判断した場合

　　　　　　　　　　　いずれの場合も、１０分をめどとして失格の判断をくだす。

　　　　　　　　　３）問題文の一部または全部を記憶媒体に保存させたまま、次の競技者にその媒体を引き

　　　　　　　　　　　継いだ場合、その団体を失格とする。

　　　　　　　　　４）上記９、機械システムの規定に反した場合、その個人および団体を失格とする。

14　委　　　　員　競技委員および審査委員は、引率教員に委嘱する。

15　引率者打合会　６月２１日（土）午前９時１５分から　特別棟３階　総合実践室

16　審査のさだめ　１）エラー１箇所について１０字減とする。その他に関しては全商協会主催ビジネス文書

　　　　　　　　　　　実務検定試験速度採点基準の定めるところによる。

　　　　　　　　　２）印刷時のエラー減点

　　　　　　　　　　　用紙が破れた場合、全体で１エラーとする。

　　　　　　　　　３）書式設定のエラーの減点

　　　　　　　　　　　①行数の過不足については全体で１エラーとする。

　　　　　　　　　　　②桁数の過不足については全体で１エラーとする。

　　　　　　　　　４）その他については審査委員で協議する。

17　表　　　　彰　１）団体賞　上位３チームとする。

　　　　　　　　　２）個人賞　上位３名とする。

　　　　　　　　　３）正確賞　（個人）総字数が1,500字以上でエラーが０の者。

18　その他　１）競技会場の座席は、申込到着順とする。

　　　　　　　　　２）成績発表では、全出場校・全選手の成績一覧表を配付する。

　　　　　　　　　３）服装は各学校で定められている高校生としてふさわしいものとする。

　　　　　　　　　４）机・椅子は、会場で準備されているものを使用する。

　　　　　　　　　５）ステープラ、筆記用具、練習用問題を用意しておくこと。

　　　　　　　　　６）審査補助員は、第１回目出場選手とする。

19　全国出場資格　１）団体優勝チーム（３名）は、全国大会に出場できる。

　　　　　　　　　２）個人は、団体出場校以外の上位２名が全国大会に出場できる。

以　上